

市民意見を踏まえた対応方針について

1 はじめに

人口について増やしていくべきとの視点、減っていくことに対応する視点双方のご意見があったが、本計画は、仙台市も人口減少局面に転じるという将来人口推計を踏まえた上で、仙台の強みを活かして、地域課題への対応はもとより、新しい価値を創造していく姿勢が重要との考えのもと作成を進めてきたものであり、基本的な考えを変える必要がないと思料。

2 新たな杜の都へ

まちづくりの理念である「挑戦を続ける、新たな杜の都へ～“The Greenest City” SENDAI～」について、タイトルがとても良い、チャレンジがキーワードになっていて市民の主体性が重視されているといった肯定的なご意見があり、基本的な方向性は変えないが、本理念について、よりイメージしやすく、幅広く共有することができるよう丁寧に情報発信を進めていくこととしたい。

3 チャレンジプロジェクト

プロジェクト名	主なご意見	対応方針
① 杜と水の都プロジェクト	「杜の都」のブランドを大切に、定禅寺通をいかに魅力的に再構築できるか、街路樹の管理、野遊び可能な公園整備、水の視点を盛り込んでいることへの高評価、広瀬川をはじめとする様々な水の資源の活用、東部沿岸地域の観光化 等	ご意見の要素は原案に含まれており、基本的な方向性は変える必要がないと思料
② 防災環境都市プロジェクト	地域の防災の人材不足、東日本大震災の教訓の継承・復興のアピール、グリーンであれば脱炭素化を推進、再生可能エネルギー導入と生態系の維持、災害拠点整備・道路整備、公共交通中心のシステム確立 等	都市インフラの防災力向上として、災害時における輸送の確保の視点を挿入
③ 心の伴走プロジェクト	多様性の尊重を育む心、寛容さ・寛大さのある社会、障害のある方も安心して取り組める機会、社会的な包摂(公助)の視点、子どもの孤立を予防、いじめ・引きこもり・貧困者等が自己責任から開放される場 等	ご意見の要素は原案に含まれており、基本的な方向性は変える必要がないと思料
④ 地域協働プロジェクト	地域協働プロジェクトの助成、学生意見は勉強になる、町内会の活動者が増える工夫、コロナ禍を踏まえた新たな活動方式、自動運転、地域交通の確保、バスの便数が少ない、地域の交流を活発化させる場づくり、地域を知る機会がない 等	地域交通の確保を項目出し、MaaSや新技術を活用した移動の利便性向上の視点を挿入 ※目標・構成も修正
⑤ 笑顔咲く子どもプロジェクト	キャリア教育は必須、オンライン授業の早期実現、不登校児童が学べるフリースクール、必要な方が支援を受けられる環境づくり、親が集まれる機会を活かす、子どもたちが自然と触れ合える機会が大事、情報発信する一方向だけでなく世代を超えて考え合う 等	子どもたちが自然に触れる環境づくりの視点を挿入

⑥ ライフデザインプロジェクト	「文化・芸術」の視点が必要、キーワードに城下町がない、「杜と歌」のようなライフデザイン、高齢で元気な方が活動できる環境、食事は病気・感染症等予防の決め手等	歴史の視点を挿入 ※目標も修正
⑦ TOHOKU 未来プロジェクト	東北をリードする位置づけ、NPO等もイノベーションを生み出す、地消地産など農業の重要性、映像・写真も組み合わせた旅行案内、MaaS 等による観光資源へのアクセス向上、観光は弱い、長期的なブランディングが必要、支店経済・工場集積欠如の改変等	ご意見の要素は原案に含まれており、基本的な方向性は変える必要がないと思料。 ※文言調整はあり
⑧ 都心創生プロジェクト	核となるのはオフィス需要の受け入れ、都市計画や開発が遅れている、老朽建築物建替え、駅前建物高層化と公開空地を活用した緑化、リノベーションに期待、青葉通広場、人の流れを大型商業施設だけに集中せず回遊性向上、企業同士でイノベーション創出等	本社機能集積の視点を挿入 ※TOHOKU 未来プロジェクト関連意見も考慮

※個別具体の取り組みに関するご意見・ご提案は、今後の施策の具体化に向けて、関係課と共有し、参考とする。

4 地域づくりの方向性

意見なし

5 未来をつくる市政運営

(1) 市政運営の基本姿勢

項目名	主なご意見	対応方針
① 持続可能な都市経営の基盤を構築する	民間投資（人員や資金）、受益と負担の適正化、コロナ禍で税収減や経済が落ち込む、「何をやめるのか」ということも考える（縮小時代のあり方）等	・ご意見の要素は原案に含まれており、基本的な方向性は変える必要がないと思料。 ※文言調整はあり
② 協働によるまちづくりを加速させる	協働計画のような印象、地域に根差したプロとしての市職員の育成、「市民協働」「市民力」の視点が薄い、かつては市民協働の先進的施策を打ち出していた等	・社会情勢を踏まえ、デジタル化の推進を項目出しし、行政サービスをはじめ、様々な分野においてデジタル化を進めていくことについて盛り込むこととしたい。
③ 社会の変化にしなやかに対応する組織をつくる	縦割りの廃止、プロジェクト体制の構築、市職員が計画を理解する必要性等	
④ 大都市としての責任を果たす	大都市としてのデメリットについても触れるべき（震災による犠牲）、首都圏流出やコロナなどの災害対応において宮城県と連携すべき等	
⑤ 【新設】デジタル化により豊かな市民生活を実現させる	ICT活用を進めるべき、デジタル活用に消極的な印象、行政のICT化は遅れている、マイナンバーの活用等	

(2) 都市構造形成の方針

項目名	主なご意見	対応方針
① 基本的考え方	意見なし	・ご意見の要素は原案に含まれており、基本的な方向性は変える必要がないと史料。
② 自然と調和した都市構造の形成	「周辺環境との調和しない土地利用」ではなく、そもそも土地利用の転換は行わず、森林や里山（農地）、都心の緑など既存環境を保存すべき 等	※文言調整はあり
③ 公共交通を中心とした交通体系の構築	鉄道駅広場構想、バスとバスの乗り継ぎ拠点強化、自動運転時代を見据えた自動運転専用レーンの設置等	
<図-1> 杜の都のグリーンインフラ	奥山・里山の持つみどりの機能の表記が少ない、森林を保全している主体は地域団体であるなど、誤解を与えないような工夫が必要 等	市民の皆さま方により広く、深く理解が深まるよう表現等について工夫
<図-2> 土地利用方針図	国道 48 号沿いに J R 仙山線白沢駅までを市街化区域とすること、西部地区は里山の拠点であること、人口 80 万人基準のコンパクト化を図ること 等	※土地利用方針図以外は修正あり
<図-3> 都心まちづくりの方向性	中心地は仙台駅周辺ではなく、仙台市の平地の真ん中は楽天生命パークではないか 等	
<図-4> 将来の交通体系イメージ図	将来的には地下鉄を富谷や吉岡まで伸ばすこと、外環状線構想、定義から根白石までの観光道路構想 等	

(3) 施策の体系

意見なし

(4) 施策一覧

男女共同参画推進センターや公文書館、中央卸売市場、MaaS や新技術の活用、コミュニティサイクルの促進などについて追記、その他文言整理を行った。

6 計画の推進

ご意見を踏まえ、計画の修正の必要性はないものの、次の点に留意していく必要があると史料。

- ・より具体の取り組みやスケジュール、数値目標等について要望するご意見があり、その点にも留意しながら、実施計画の策定を進めていく。
- ・地域の声を聞いて欲しい、若者には伝わっていない、市政を知るイベントのような機会があって良かったといったご意見もあり、今後、計画の推進にあたっては、事業の進捗状況などわかりやすく、幅広く市民の皆様に伝えることができるよう留意していく。

7 区ごとの地域づくりの方向性

具体的にご意見が多く、地域づくりの方向性としては、変える必要がないと史料。個別のご意見については、今後の参考とする。